

豊川市バリアフリー基本構想 道路特定事業計画

**平成24年3月
愛知県・豊川市**

目 次

豊川市道路特定事業計画の位置づけ	2
豊川市バリアフリー基本構想の概要	3
バリアフリー化の基本方針	6
各施設の整備方針	10
各施設のバリアフリー計画	24
八幡駅周辺地区	
弥五郎足洗1号線	26
野路鐘鋳場線	27
伊奈鳥川線	28
蔵子線	30
姫街道線	31
野口道下1号線	32
野口道下2号線	33
代田八幡線	34
篠束野口線	35
蔵子五丁目蔵子三丁目2号線	39
国府駅周辺地区	
(都) 国府赤根線	40
(市) 大池線	42
(都) 大池線	43
(都) 姫街道線	46
(都) 上宿樽井線	47

豊川市道路特定事業計画の位置づけ

本計画は、平成 22 年 3 月に策定した「豊川市バリアフリー基本構想」において、生活関連経路又は特定経路に位置づけた道路について、移動円滑化基準やガイドラインに基づきバリアフリー整備事業を実施するため、以下の事項を定めるものである。

豊川市道路特定事業計画に定める事項

- バリアフリー化の基本方針
- 各施設の整備方針
- 各施設のバリアフリー化計画
 - ・ 道路特定事業を実施する道路の区間
 - ・ 道路の区間ごとに実施すべき道路特定事業の内容及び実施予定期間
 - ・ その他道路特定事業の実施に際し配慮すべき重要事項

豊川市バリアフリー基本構想の概要

(1) 豊川市バリアフリー基本構想の目標

『誰もが、安全・安心、快適で、豊かな心が育つ とよかわ』

(2) バリアフリー化の基本方針

① 多様な人々が安全・安心に活動できるまちづくりの推進

高齢者や障害者等をはじめ、妊産婦やけが人、乳幼児連れや大きな荷物を持った人等、あらゆる人が、安全かつ安心して活動できるよう、ユニバーサルデザインの考え方や身体機能上の制約に応じて選択が可能なよう配慮します。

② 快適な歩行空間の形成による多様な交流の促進

本市の水や緑の自然、歴史的資源等の地域資源を活かした多様な交流の促進に向けて、市民だけでなく、来訪者にとっても安全・安心で快適な歩ける空間の形成をめざします。

③ 心のバリアフリーの推進

高齢者や障害者等が安心して日常生活や社会生活ができるようにするためには、施設整備（ハード面）だけではなく、高齢者や障害者等の困難を自らの問題として認識し、心のバリアを取り除き、その社会参加に積極的に協力する心のバリアフリーが重要です。

④ 多様な関係者の参画・連携による取り組みの推進

各事業者や国・県・市の連携を図り、一体的かつ重点的なバリアフリー化を推進します。また、効果的な整備を進めるため、市民、事業者、国・県・市の役割を明確にするとともに、計画・設計段階での高齢者や障害者等との意見交換の実施等、市民参加を基本としたバリアフリー化の仕組みづくりに取り組みます。

⑤ 継続的・効果的な事業実施

緊急性や重要度を勘案したうえで優先的に実施する事業を明確にし、重点的かつ効率的な整備を行います。また、計画・設計、事業の実施、評価、改善、他の事業への反映といったプロセスにより、持続的かつ効果的なバリアフリー化に取り組みます。

(3) 基本構想の目標年次

平成 32 年度（2020 年度）

(4) 重点整備地区および生活関連施設、生活関連経路等

